

コンセプトシートのつくりかた

コンセプトシートは、自分の考えを整理するとともに他の人に伝えるためのもので、ものづくりする人たちにとってとても大切な書類です。これを作れるか作れないかで、クライアントへの理解や社内プロジェクト通過、制作メンバーとの情報共有など、仕事の成果や効率は大大きく変わります。

コンセプトシートって？

自分が考えたものを 1枚にまとめたシート の事を言います。

どんなものでも何かを作る時には「何のために作るのか」「作るとうどう良くなるのか」を明確にする必要があります。

頭の中に何となくある考えを「言語化」する事はとても大事なのです。

その言語化したものをA4用紙1枚（多くても2枚まで）にまとめたものを「コンセプトシート」と言います。

何のために作るの？（目的）

他の人に“いいね!” と思ってもらって 仕事を勝ち取るため です。

単に「コンセプトシート」と言葉で言う場合、ネット検索しても様々なものが出てきます。大きくは目的によって以下の違いがあります。

A. 自分用＝ 自分の考えを整理し再確認するためのもの。

B. お客(or 同僚・上司)用＝ やる意味を理解させやりたいと思わせるもの。
今回みなさんが作るのはBの目的のコンセプトシートです。

(Aをブラッシュアップして人に見せる用に作り替えた物をBとってください。)

内容は何を書けば良いの？ 何を書いちゃいけないの？

基本的には、授業で習った「コンセプトの山」をベースに、少しずつ説明を付け足すと完成できます。

注意する点は、コンセプトシートは「何をするか」「なぜするか」「何が良いのか」を伝える事がメインなので、詳細すぎる情報を載せない事です(使用言語や使用サーバ、詳しい制作時間、費用、役割や、詳しい設置場所など)。

※ただし、今までにない高速に動くサーバを使うとか、超低費用で可能になるとか、有名人を起用するなど、それ自体が特長の場合は書く必要があります。

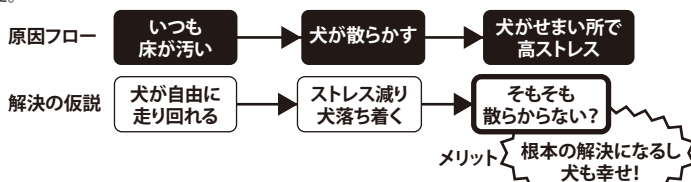
【コンセプトシートの例 簡易版】

※これは簡易例です。かわいい見本は別紙参照

① おもちゃや液体で汚い床にならないための近道

② 犬をのびのび走らせて 寝ころべる床をゲット!

床が汚く見える直接の原因は色んな物が散乱している事だが、その原因は家にいて暴れる我が家の犬「チロ」。チロは1日中狭い家の中にいて最近特にフラストレーションがたまっている様子。単に片付けるという解決ではなく、チロに思いっきり走らせて可愛がってあげればストレスが解消し、家での落ち着きを取り戻し、おもちゃを散らかさないと考えた。



③ 【キーワード】

ドッグラン かまってあげる 強制じゃない

犬が自由に走り回れるドッグランに連れていけるように考えます。

犬とのスキンシップの時間を増やし遊ぶ。そうすると犬も喜び、ケージにいる時間も減ります。

「片付けないといけない」と思いながらやるのではなく、結果的に片付いているので苦ではないはず。

④

【具体的施策】

例1：直接的な行動

- 平日帰ってきたら晩御飯前に20分、犬と遊ぶ
- 土曜日の午前中はドッグランにつれていく

例2：ものづくりの観点から支援

犬がのびのび動き回る事を 応援するドッグヘルスケアアプリ

犬がストレスをためないように、外出とケージ内の時間管理やエサ、体重などを記録できるようにします。

(※本当はもう少し特長とか書くといいです)

必ずしも両方書く必要はありません。
みなさんの場合はものづくりの観点の話を書きましょう。

① テーマ

最終的にどうなりたいか、どうしたいかなど、ゴールを書きます。

左のように「△△△のための近道!」というような書き方をしても良いですし、単に「テーマ:●●●(問題点)の解決」と書いても良いですね。

② コンセプト + 説明

どんな事をすればテーマ(ゴール)に辿りつけるかの道筋を書きます。詳細な解決法を書くのではなく、ここでは「何となく理解できる」言葉で大丈夫です。ただ、なるべくキャッチーな(印象に残る)言葉を選びましょう。そして、なぜそのコンセプトになったのかの経緯やメリットなどの文章を付け加える必要があります。

③ 3つのキーワード + 説明

コンセプトを満たすための、具体的な言葉を並べます。

「山の練習」ではキーワードを先に全部出していました、人に伝える時の順番はテーマ→コンセプト→キーワードです。

また、コンセプトで使った言葉をそのまま使わないのが大原則です。左の場合は「犬」や「寝ころべる床」というキーワードはNGです。

(※テーマやコンセプトは、「コンセプト」と見出しを書いても書かなくても良いですがキーワードだけはまとめて分かりやすくするために「キーワード」という見出しを付けておきましょう。)

④ 具体的施策

コンセプトとキーワードを満たすために、あなたが考えた中身を書きましょう。これも見出しを付けましょう。

たとえば「ドッグラン」のキーワードだと、実際のアクションは「ドッグランに何時に行き何時に帰ってくる」となります。

でもものづくりの観点で考えると「ドッグランがある場所をマップ表示するアプリやWebサイト」を考えても良いですし「犬専用の活動量計」を開発してもいいわけです。

「ドッグラン」というキーワード＝ドッグランに行くだけではありません。

(左の例は、床が汚れているという問題解決の具体的施策としてヘルスケアアプリを作るというかなりリスケールの大きな話になりましたww)

犬をのびのび走らせて 寝ころべる床をゲット!

床が汚く見える直接の原因は色んな物が散乱している事だが、その原因は家にいて暴れる我が家の犬「チロ」。
チロは1日中狭い家の中にいて最近特にフラストレーションがたまっている様子。単に片付けるという解決ではなく、チロに思いっきり走らせて可愛がってあげればストレスが解消し、家での落ち着きを取り戻し、おもちゃを散らかさないと考えました。

【原因フロー】

【問題点】
いつも床が汚い

犬が散らかすから

犬がせまい所において
高ストレスになっているから

床が汚くなる原因は、暴れて散らかす犬が常に高いストレス状態にあると仮定しました。

【解決への仮説フロー】

犬が自由に走り回れる
ようにする

ストレスが減り
犬が落ち着く

そもそも散らからなく
なるのではないかな

この方法だと床が汚れる問題点が根本から解決できる上に、犬のストレスが減り幸せになるというメリットがあります。

【キーワード】

ドッグラン

忙しい日常生活の中で、何とか犬が自由に走り回れるドッグランに連れていける方法を考えます。

かまってあげる

犬とのスキンシップの時間を増やし遊ぶ事で、犬も喜びストレスが減り、ケージにいる時間も減ります。

強制と感じない

犬の世話やコミュニケーションを主軸にし、片付けを強要するタイミングは設けない。「やらない」と思いながら片付けるのではなく、結果的に片付いている（汚れない）ので苦ではないはず。

【具体的施策】

犬がのびのび動き回る事を 応援するドッグヘルスケアアプリ

犬がストレスをためないように、外出とケージ内の時間管理やエサ、体重などをトータルで記録したり、アドバイスしてくれるアプリを考えました。

アピールポイント①

犬の活動量計で 運動不足解消

犬に装着された活動量計がアプリとリンク。犬の運動量が手に取るようにわかり、体重やエサのタイミングを記録しておけば、犬をお散歩やドッグランに連れて行タイミングも教えてくれます。

→キーワード「ドッグラン」を満たす

アピールポイント②

犬とのスキンシップで ポイントゲット

犬とのスキンシップにより、しつてもしやすく犬との距離も縮まります。またアプリ内のスキンシップ手帳ページで課されたお題をクリアするとポイントをゲットし、ユーザー間で競いあえます。

→キーワード「かまってあげる」を満たす

アピールポイント③

犬の状態チェック (散らかし等チェック)

犬の現在の状態が項目をチェックする事でわかります! 疲れていないかといった体調面や、ストレスをためていないかの犬の気持ちなど。

→キーワード「強制と感じない」を満たす